

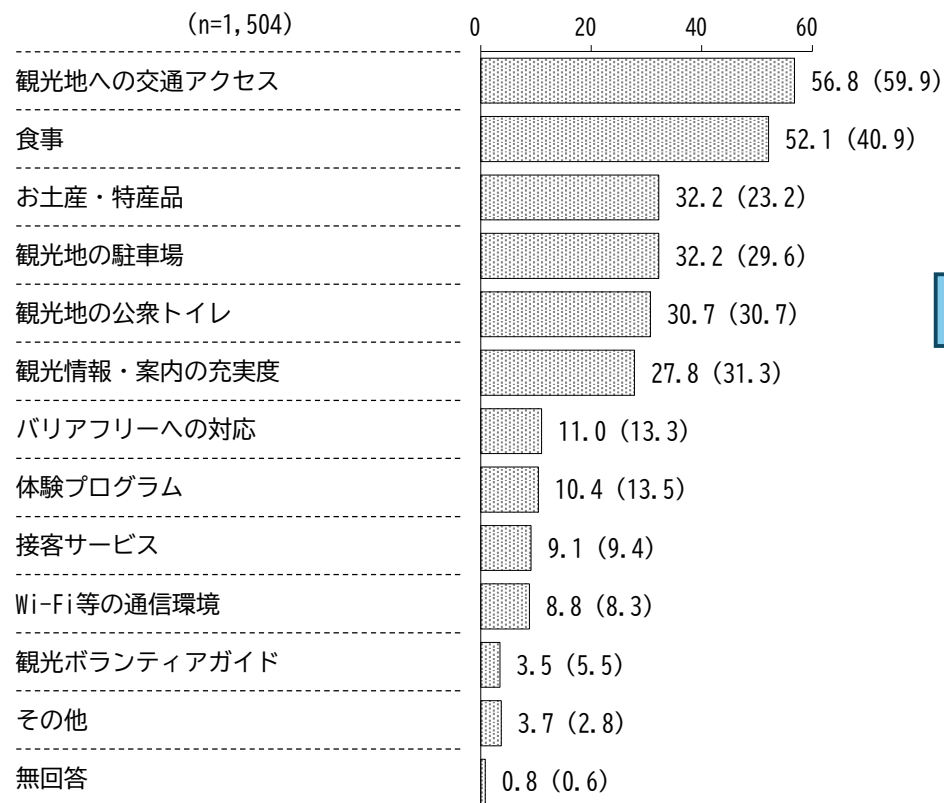
令和6年度 第68回県政に関する世論調査の主な活用状況

～皆さまの回答は各種施策や計画の資料として活用されます～

調査結果 (令和7年5月公表)

○県民意識調査「観光について」(観光政策課)

・県内でより快適な旅行をするために充実してほしいこと



注) () 書きは、令和5年度の調査結果を示している。

主な活用状況 (令和8年5月時点)

- ・令和7年度から、養老溪谷温泉郷において、魅力ある観光地づくりに向けた取組を総合的に実施しており、その中で、県民の関心が高い交通アクセスやグルメ・特産品の充実に関する取組も行っている。また、今後は、こうした取組を県内各地域へ順次展開していく予定である。
- ・観光地の駐車場や公衆トイレの充実を期待する回答も多く、市町村や民間事業者による整備に対し、補助金による支援を継続して行っている。
- ・観光情報・案内の充実については、令和5年10月に県の公式観光サイトを全面リニューアルし、見やすく検索しやすい構成としたところであり、引き続き掲載情報の充実に努めている。

(千葉県HP・ちば観光ナビ)



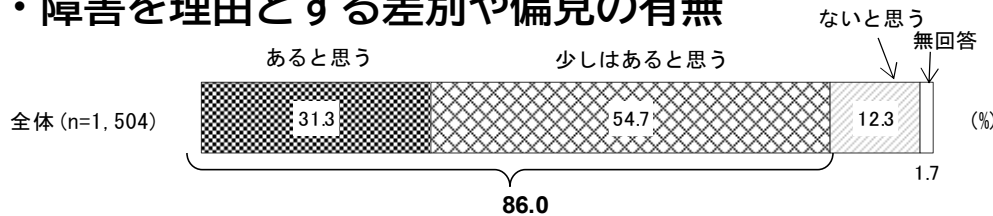
令和6年度 第68回県政に関する世論調査の主な活用状況

～皆さまの回答は各種施策や計画の資料として活用されます～

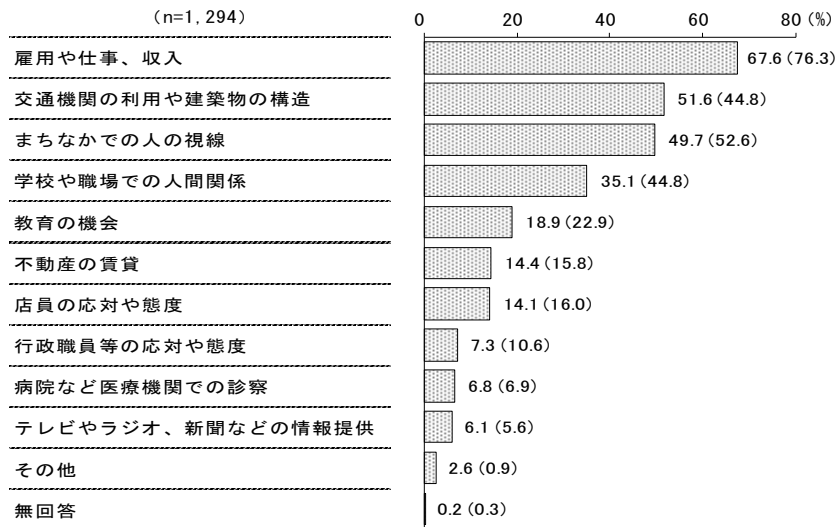
調査結果 (令和7年5月公表)

○県民意識調査「障害者差別について」 (障害者福祉推進課)

・障害を理由とする差別や偏見の有無



・障害を理由とする差別や偏見がある場面



注) () の数字は令和5年度の同様の項目による調査結果 n=1,441

主な活用状況 (令和8年5月時点)

- ・障害を理由とする差別や偏見があると思う県民の方の割合が8割を超えていることがわかった。
- ・回答の多かった差別や偏見がある場面を参考に、障害のある方への理解促進や差別をなくすために、県民の方や事業所、交通機関、教育機関などに対して周知・啓発活動に取り組んだ。



「障害のある人への理解を広げよう！」チラシ



障害者差別解消法パンフレット

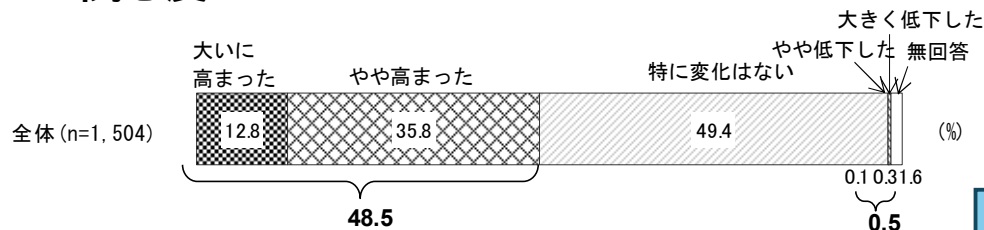
令和6年度 第68回県政に関する世論調査の主な活用状況

～皆さまの回答は各種施策や計画の資料として活用されます～

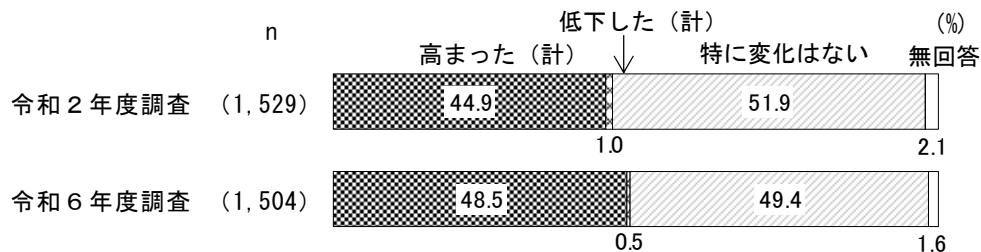
調査結果 (令和7年5月公表)

○県政の主要課題「災害ボランティア等について」 (県民生活課)

・市民活動団体の活動やボランティア活動への関心度



【参考】令和2年度・6年度の同様の項目による調査結果との比較



主な活用状況 (令和8年5月時点)

- ・令和5年台風第13号や令和6年能登半島地震によって県民活動※に対する関心や支援活動への参加意欲の高まりなどが見られた。
- ・この結果を参考に、令和8年3月に「千葉県県民活動推進計画（令和8～12年度）」を作成した。
- ・今後、本計画に基づき、引き続き、県民活動の裾野の拡大や継続的な参加の促進などに取り組んでいく。

「県民活動」とは？

県民が自発的に地域に存在する様々な課題の解決を図るなど、地域社会をより豊かにしていこうとする社会貢献活動のこと。



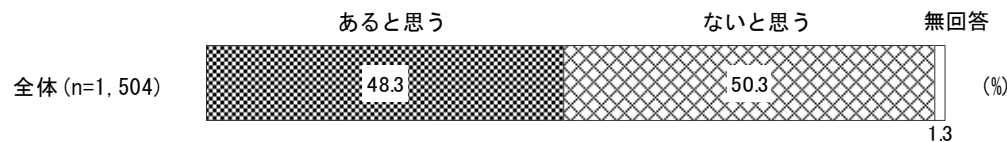
令和6年度 第68回県政に関する世論調査の主な活用状況

～皆さまの回答は各種施策や計画の資料として活用されます～

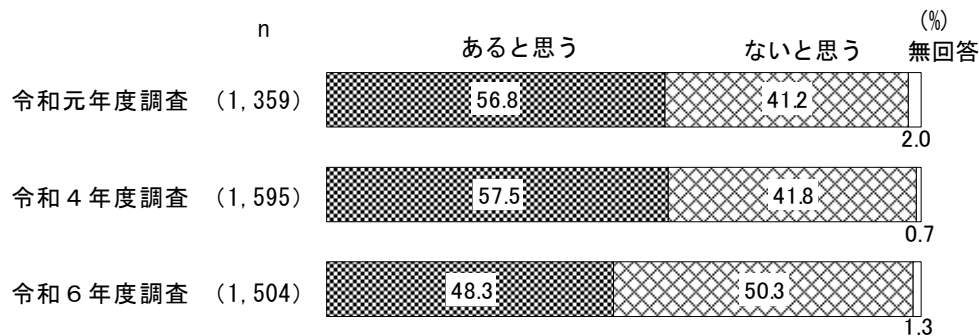
調査結果 (令和7年5月公表)

○県政の主要課題「消費生活について」 (くらし安全推進課)

- ・消費者トラブルにあった際の「安心して相談できるところ」の有無



【参考】令和元年度・4年度・6年度の同様の項目による調査結果との比較



主な活用状況 (令和8年5月時点)

- ・「第4次千葉県消費生活基本計画(令和6～10年度)」の参考資料として活用した。
- ・「ないと思う」と回答した方が5割いることから、消費生活相談窓口について、県民だよりや県広報Xなどを通じて広報を行った。
- ・令和7年度には、消費者ホットライン188のWEB広告を掲載し、県民の方への周知啓発を促進した。

気を付けよう! 消費者トラブル
「こんなはずじゃ…」さまざまな事例が報告されています

1 「分電線の無料点検」と書かれて業者が訪ねて来た
点検後に「古いので調べては火事になる。今すぐ交換が必要!」と書かれてとっさにその場で契約しちゃったけど、実際どこが故障しているのかまでは聞きそびれた...大丈夫かな...

2 1回限りの購入のつもりが定期購入になっていた
スマホの広告を見て「健康食品の500円お試し」を申し込みただけまさか定期購入だったなんて...申し込み画面に「定期購入」の文字はなかったはず。1回でやめると伝えたが電話が通じない...

消費者トラブルを防ぐポイント


- 業者の説明をうのみせず、契約する前に家族や周囲の人に相談しよう
- 少しでも不安を感じたら勇気をもって「NO!」
相手があつこいときは110番を
- 極端に安い広告には要注意。ネット通販の広告や最終確認画面は必ず保存

「これって大丈夫...?」一人で抱え込まずに相談を
一定期間内であれば、クーリング・オフ制度を活用して無条件で契約を解除できる場合があります。違和感を感じたら、まずはご相談ください。

県消費者センター ☎047-434-0999
(平日9時～16時30分、土曜日9時～16時)
※年末年始(12月28日～1月4日)を除く

消費者ホットライン ☎188
市町村が運営する消費生活センターなど、最寄りの消費生活相談窓口につながります。
※年末年始(12月29日～1月3日)を除く

県消費者センター ☎047-434-0999



(県民だより令和8年1月号抜粋)

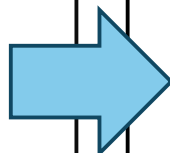
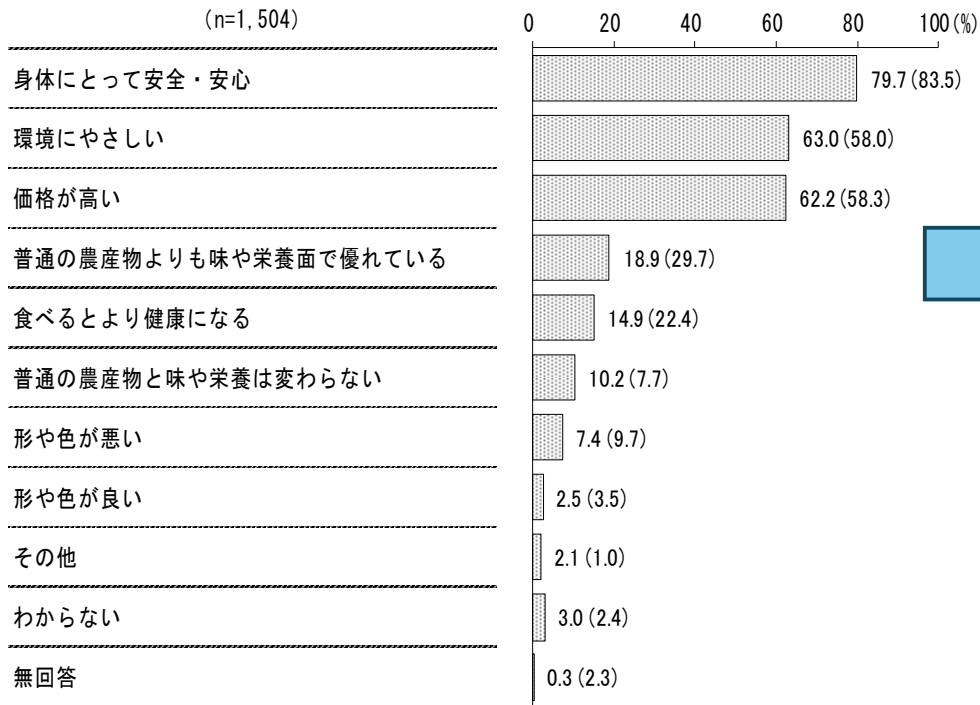
令和6年度 第68回県政に関する世論調査の主な活用状況

～皆さまの回答は各種施策や計画の資料として活用されます～

調査結果 (令和7年5月公表)

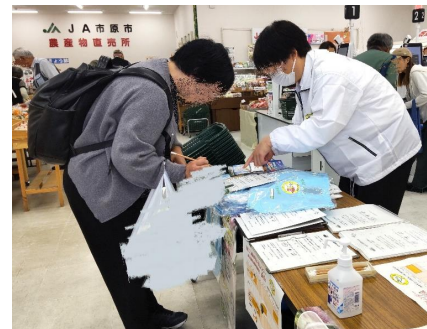
○県政の主要課題「有機農業について」 (環境農業推進課)

・有機農産物に対するイメージ



主な活用状況 (令和8年5月時点)

- ・「第3次千葉県有機農業推進計画(令和3～13年度)」の中間見直しに向けて、施策の検討などに係る基礎資料として活用した。
- ・有機農業をはじめとした「環境にやさしい農業」が環境保全につながる取組であることを消費者向けPRイベントの出展により周知を図った。
- ・有機農産物の生産拡大に必要な機械の導入を支援するなど、引き続き有機農業の推進に取り組んでいる。



県内直売所キャンペーン出展



有機農業に必要な水田除草機

注) () の数字は平成30年度の同様の項目による調査結果 n = 1,212

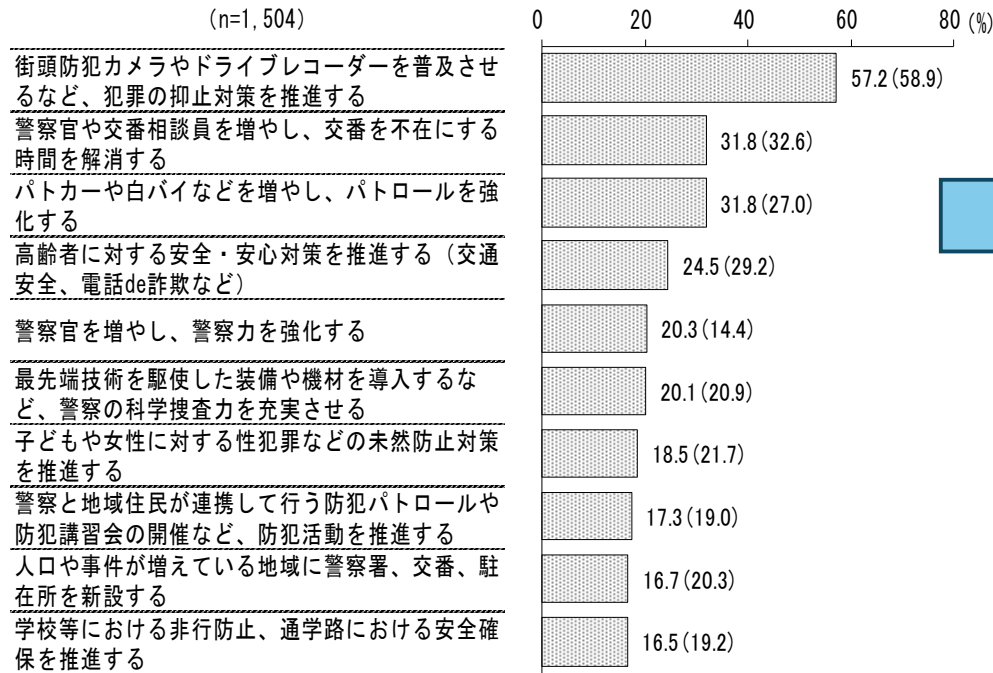
令和6年度 第68回県政に関する世論調査の主な活用状況

～皆さまの回答は各種施策や計画の資料として活用されます～

調査結果 (令和7年5月公表)

○県政の主要課題「県民の治安に対する意識と警察に求めることについて」 (警察本部)

・安全で安心できる生活を守っていくために必要なこと (上位10項目抜粋)



注) () の数字は令和4年度の同様の項目による調査結果 n=1,595

主な活用状況 (令和8年5月時点)

- ・「安全安心を実感できるくらしの実現」に向けて、地域住民や関係機関・団体と連携した犯罪抑止対策や官学共同の交通事故防止対策に取り組んだ。
- ・犯罪抑止対策として、防犯カメラ等は、各種犯罪の抑止や事件捜査等に効果的であることから、引き続き防犯カメラ設置の拡充に向けた取組の推進や、犯罪の発生が多い夜間帯における警戒力の強化のため、職員の配置の見直し等を行った。

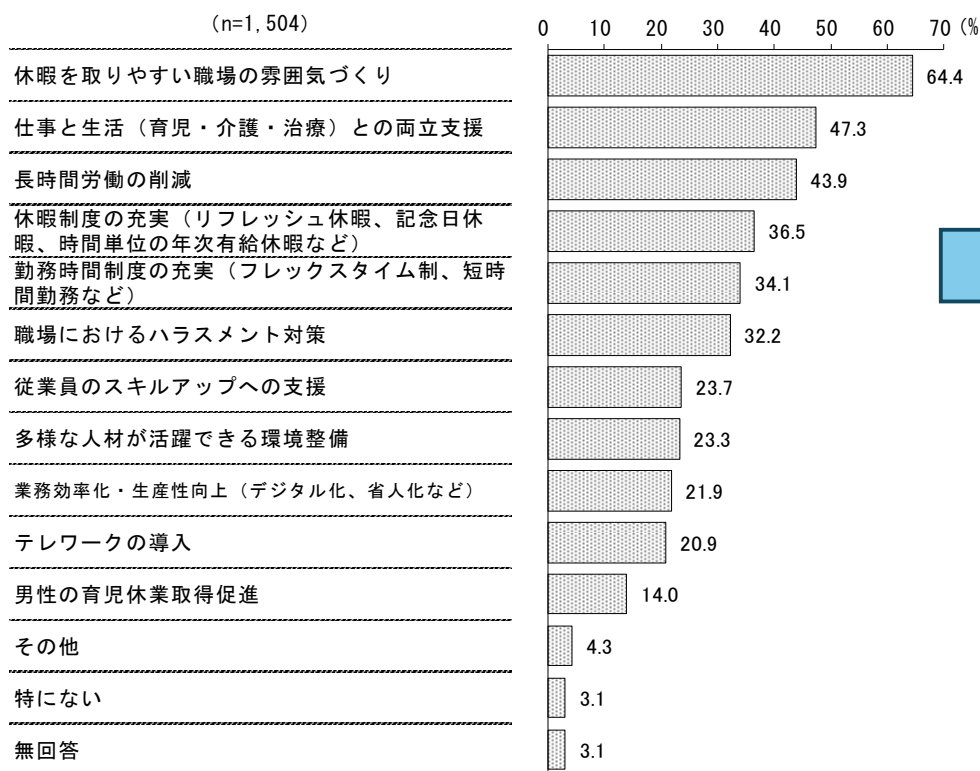
令和6年度 第68回県政に関する世論調査の主な活用状況

～皆さまの回答は各種施策や計画の資料として活用されます～

調査結果 (令和7年5月公表)

○県政の主要課題「働きやすい職場環境づくり について」 (雇用労働課)

・事業者の取組で重要だと思うこと



主な活用状況 (令和8年5月時点)

- ・ 県民の働きやすい環境に関する意識を把握し、中小企業の働きやすい環境づくりを支援するために専門家派遣やセミナーを実施した。

<令和7年度実施実績>

- ①働きやすい環境づくりアドバイザーの派遣
- ②中小企業向け働き方改革セミナー動画の配信
- ③ちば「働き方改革」公労使オンライン講演会

(千葉県HP:多様な働き方推進事業)



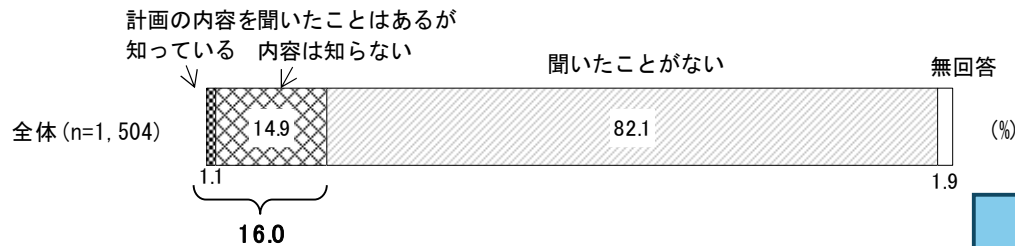
令和6年度 第68回県政に関する世論調査の主な活用状況

～皆さまの回答は各種施策や計画の資料として活用されます～

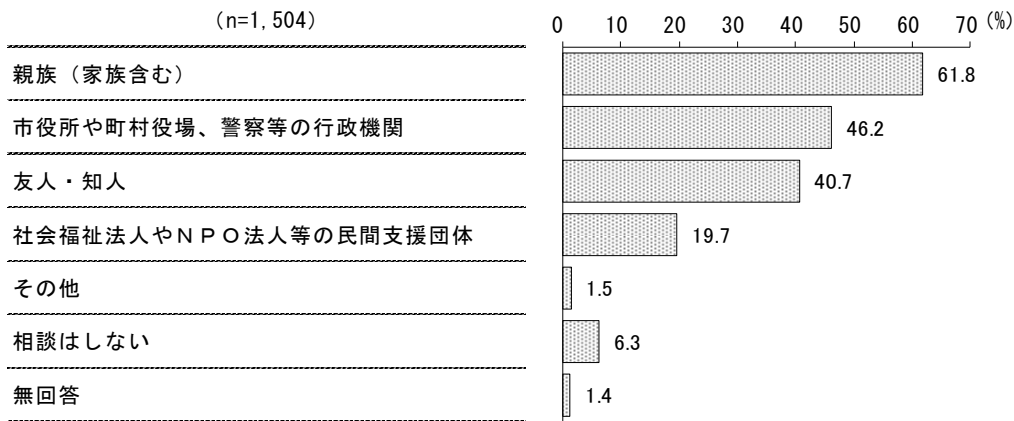
調査結果 (令和7年5月公表)

○県政の主要課題「困難な問題を抱える女性への支援について」(児童家庭課)

・「千葉県困難な問題を抱える女性支援基本計画」の認知度



・困難な問題を抱えた際の相談先



主な活用状況 (令和8年5月時点)

- ・当該計画に基づく相談窓口を記載したリーフレットの商業施設での配布や、市町村への送付により、県民への周知を図った。
- ・支援が必要であるにもかかわらず、相談することを諦めている、あるいは相談先を知らない女性に対し、民間支援団体と協働してアウトリーチを実施し、相談先があることを呼び掛けるとともに、Instagramのフィード広告を活用し、相談窓口の周知を行った。
- ・LINE相談や居場所の提供を、アウトリーチと併せて実施し、困難な問題を抱える女性の公的機関・施設等へのつなぎ等の支援を行った。

(千葉県HP:「千葉県困難な問題を抱える女性支援基本計画」の策定について)



令和6年度 第68回県政に関する世論調査の主な活用状況

～皆さまの回答は各種施策や計画の資料として活用されます～

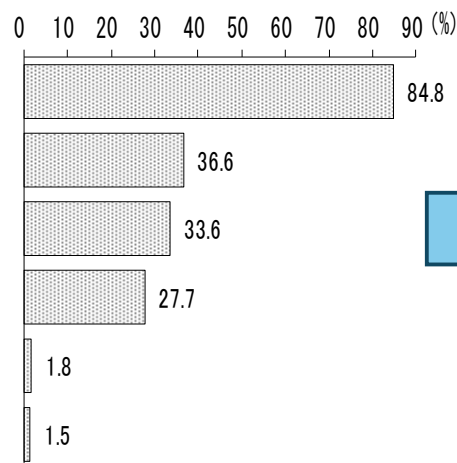
調査結果 (令和7年5月公表)

○県政の主要課題「地域リハビリテーションについて」 (健康づくり支援課)

・「リハビリテーション」の言葉のイメージ

(n=1,504)

病気やケガをした人の筋力トレーニングや歩く練習をすること
自宅に手すりをつけたり、段差をなくして生活環境を調整すること
道路や公共交通機関などの物理的な段差などを解消して、車椅子で外出しやすい環境を作ること
色々な人たちが、地域に暮らしていることを理解し、誰もが暮らしやすい地域をつくること
特にイメージすることはない
無回答



※地域リハビリテーションは、障害のある子どもや成人・高齢者とその家族が、住み慣れたところで、一生安全に、その人らしくいきいきとした生活ができるよう、保健・医療・福祉・介護及び地域住民を含め生活に関わるあらゆる人々や機関が協力し合って行う活動であり、県民ひとりひとりの当事者意識が必要不可欠となります。

主な活用状況 (令和8年5月時点)

- ・全ての項目が「リハビリテーション」の言葉に含まれるが、依然として認知度に課題があることから、県民の方や、県内のリハビリテーション関係事業所向けに、地域リハビリテーションに関するチラシを千葉県HPに掲載するなど周知を図った。



(千葉県HP:千葉県の地域リハビリテーション支援)

- ・千葉県リハビリテーション支援センター及び各地域リハビリテーション広域支援センターに調査結果を共有し、事業への活用を促した。
- ・保健・医療・介護・福祉・行政等に携わる方を対象に研修会を開催し、地域リハビリテーションに関わる人材の育成を行った。
- ・次期「千葉県保健医療計画(令和12年度～)」における施策の参考資料として活用する。